

ワン オール プレス



第10号 (2016年2月10日発行)

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目

市民活動プラザ星園 302号

☎ 011-213-0171

Fax 011-213-0172

URL one-all.net

「札幌市精神障がい者地域生活移行支援事業」

プレス第9号(9月)で報告しました表題の事業。4月から委託を受け、この間、札幌市をはじめ色々な機関との調整を進める一方、新たにワン・オールとしてピアサポーターの方4名と雇用契約を結びました。ピアサポーターの方々は、既に委託相談支援事業所に所属しピアサポーターをされてる方もいます。

準備に手間取りましたが、11月から札幌市内38カ所の精神科病院への訪問活動をはじめています。目的は、「地域移行」に関わる制度の周知や、地域移行を進めるに当たって相談支援機関やピアサポーターを含めた地域資源の活用の可能性を話し合うなどです。

事前に、札幌市が全ての病院にワン・オールによる病院訪問の依頼文を出し、退院支援の窓口を集約してくれるなどしてくれました。その後押しもあり、1月末までに33カ所の病院を訪問することができました。ピアサポーターの方々はほとんどの病院と一緒に訪問しています。少しずつですが成果も出始め、病棟内のOT活動にピアサポーターも参加し体験を話してもらう機会を作りたいと提案されたり、個別のケースの支援の依頼も出ています。残り5病院、引き続き訪問活動をしていきます。

1月21～22日には、精神障がいの方の地域移行を進めるための「医療と福祉の連携研修会」(主催：北海道、共催：札幌市、支援の三角点設置研究会、北海道精神保健推進協会)が開かれ、医療機関を含む市内の関係者も集まりました。今後、市全体としてこの分野の話し合いが徐々にもたれていくことと思います。今後は、この事業もこれらの動きと連動しながら進めたいと思っています。(OKU)

特集

札幌弁護士会との共催研修 ～刑務所見学会～

去る11月17日・26日に、札幌弁護士会と初めて座学以外の共催研修『刑務所見学会』を開催しました。参加者は、札幌市・石狩圏域の委託相談支援事業所相談員、弁護士、札幌市障がい福祉課職員の総勢59名。平成26年度から地域移行支援事業の対象が矯正施設にも拡大したことを受けて、出所後の相談支援のアセスメント材料に…という意味も込めて、札幌刑務所にて受刑者の生活環境を見学。概要説明含めて1回2時間程度のコースでした。さて、刑務所について少し。全国の刑務所設置数は76か所で、そのうち官民協働運営のPFI方式の刑務所(社会復帰促進センター)が4か所あります。広大な北海道の土地には刑務所が8か所設置。札幌刑務所の受刑者数ですが、受刑者数は、景気低迷のあおりを受けて徐々に増加し、ピーク時の平成19年は1900名。受刑者増員に伴い平成15年から9年間かけて改築したようですが、それ以降は年々減少し続け、現在は1400名弱とのこと。見学会では、かなり大きな建物のため、移動に疲れたという声も。受刑者の部屋と作業場、体育館を遠目で見学させていただきましたが、部屋は個室が全体の7～8割もあり、個室増加に伴い受刑者間のトラブルが減ったとのことでした。→

さて、刑務所には処遇指標というものがあり、①犯罪傾向、②10区分の指標があります。障がいに関する指標は「M=精神上的の障がいまたは疾病」、「P=身体上の障がいまたは疾病」です。全ての刑務所が「M、P」の受け入れ施設ではありませんが、札幌刑務所はこれに該当しています。気になる障がい者の割合ですが、手帳有無に関わらず、全体の4～5割が何らかの障がいや疾病があるそうです。

また、受刑者の高齢化も課題で、介護が必要な受刑者もいるとのこと。札幌刑務所には平成26年度から常勤の福祉専門官が配置され、特別調整に上がらなかった高齢者・障がい者の出所後の相談にのっているそうです。国内全ての刑務所に福祉専門官が配置されている訳ではありませんが、非常勤福祉職は全国74か所の刑務所に配置され、今後ますます福祉職の活躍が期待できそうです。研修後のアンケートでは、受刑者の生活をイメージすることができ大変よかったという声が多く、今後も見学会等を企画したいと思います。(ARA)

【道内の刑務所と福祉職員の配置状況】

刑務所名	常勤…社会福祉士等の福祉専門官	非常勤…社会福祉士 or 精神保健福祉士
札幌刑務所	福祉専門官1名	社会福祉士1名、精神保健福祉士1名
札幌刑務支所		社会福祉士1名
月形刑務所	福祉専門官1名	社会福祉士1名
旭川刑務所		社会福祉士1名
函館少年刑務所		社会福祉士1名
帯広刑務所		社会福祉士1名
釧路刑務支所		社会福祉士1名
網走刑務所	福祉専門官1名	社会福祉士2名



札幌市自立支援協議会

10月26日(月)に第24回札幌市自立支援協議会の全体会が開催されました。

まちの課題整理プロジェクトチームの進捗報告と、13の各部会の運営で工夫していることや困っていることの報告と意見交換がされました。まちの課題整理プロジェクトチームでは、「重複障がいに関する課題」について有期限のプロジェクトで実態調査などを実施。「行政の仕組み課題」についても、アンケートを実施。「移動課題」については、調査研究の検討を行っていることについて報告されました。13の部会の報告では、災害時を想定した防災訓練に地域部会が関わっていることについてや、協議会の財源や研修実施についてなどの意見交換がされました。

次回全体会は、3月25日(金)に開催される予定です。
(HYA)

札幌市自立支援協議会事務局

つぶやき…

札幌市自立支援協議会は、平成18年の秋に設置され、10年目に入りました。現在は<全体会>のほか、<運営会議>とその運営会議のプロジェクトとしての<まちの課題整理プロジェクトチーム>や、3つの<専門部会>(就労・相談・子ども)と10の<地域部会>があります。専門部会や地域部会には、「事務局会議」や“全体会”、部会によっては更に部会等もあります。地域部会は当初、190万都市札幌に1つの協議会では、「地域で生活している一人ひとりの人の顔が見えない」ということから、「区毎に協議会の機能を分散させよう」という発想で設置されました。でもここ数年は、「協議会の各組織がどのように活動しているのかが見えにくい」という声を耳にします。地域部会では<地域部会連絡会>を開催して活動状況の共有などを行っていますが、この声への対応策・・・何かあるのでしょうか？ (HYA)

ワン・オール状況報告

11月10日(水) 9:30~11:00

ワン・オールにて、平成27年度第一回運営委員会を行い、委員のみなさまからご助言、ご意見を頂きました。

その他

今年度の相談支援部会交換研修が終了しました。計画された10月~12月に全ての研修が行われ、振り返りシートの集計も終わることができました。相談支援部会全体会にて報告予定になっています。みなさん、お疲れさまでした。

